

# タカワレポート

## 第62期 中間報告

平成19年 1 月 1 日

▼  
平成19年 6 月 30 日







家庭に、企業に、都市の中に。  
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。  
インテリア産業の一翼を担う企業として、  
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申しあげます。

さて、当社は平成19年6月30日をもって第62期(平成19年1月1日から平成19年12月31日まで)上半期が終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成19年9月

C O N T E N T S

経営者から皆様へ	2
営業の概況(連結)	3
グループ(連結会社)の事業展開	5
連結財務諸表(要旨)	7
単体財務諸表(要旨)	8
Topics	9
New Products	10
製品紹介	11
ショールームのご案内	12
会社の概要	13
株式情報	14
株式についてのご案内	

## 営業の概況(連結)

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用情勢の改善を背景とした底堅い設備投資や個人消費に支えられ、景気は回復基調を維持していますが、原油・素材価格の高止まりが続くなど不安要因が残りました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、民間建築着工は減少傾向で、公共投資も依然低調に推移しており、新規住宅着工も減少が見られる中、原材料等コスト高の状況は改善されず、予断を許さない経営環境が続いております。

また、立体駐車場業界においては、依然として競合各社の価格競争があるものの、昨年の改正道路交通法施行を契機に駐車場需要は増加傾向にあり、機械式駐車場の市況にも波及効果が見え始めました。

減速機関連業界においては、国内企業の収益改善に伴う設備投資の伸びに支えられ、産業機械関連を中心に需要環境は堅調に推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、家庭用向けに新製品を発売するとともに、既存製品のリニューアルを行い、これにあわせた新商品発表会を開催するなど拡販に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業においては、違法駐車対策に伴う潜在的な需要を捉えた販促活動を重点的に推進し、競争力の強化と安定した受注確保に注力してまいりました。

その他事業においては、お客様の要求に応えられる付加価値のある製品の提供など提案型営業の強化により強みを活かした差別化を進めたほか、一部製品について販売価格の適正化を講じるなど、顧客満足獲得と売上向上に努めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、21,142百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は795百万円(前年同期比68.6%増)、経常利益は837百万円(前年同期比67.0%増)、中間純利益は280百万円(前年同期比92.8%増)となりました。

なお、事業の種類別セグメントごとの概況は次のとおりであります。

### ■ 室内外装品関連事業

マンションなどを中心に需要が伸びている家庭用タテ型ブラインド「ラインドレープ」に新デザイン・新素材・新色を追加したほか、ス

ラット(羽根)に天然木を使用した上質な空間を演出する「ラインドレープ 木製タイプ」を新発売しました。

さらに、プリーツスクリーン「ペルレ」の新タイプとして昇降コードの穴から光漏れをシャットアウトする「ペルレ サート」を新発売し、また、幅15cmから製作できるコンパクトな「ペルレ15 小窓タイプ」に加え、継ぎ目のない一枚生地で幅2.9mまで対応可能なアイテムを追加しました。

このほか、ヨコ型ブラインド「シルキー」に新色“シックモダンカラー”や専用バランスの追加をし、「竹スダレ」「経木スダレ」の両シリーズをリニューアルするなど製品ラインナップを充実してまいりました。

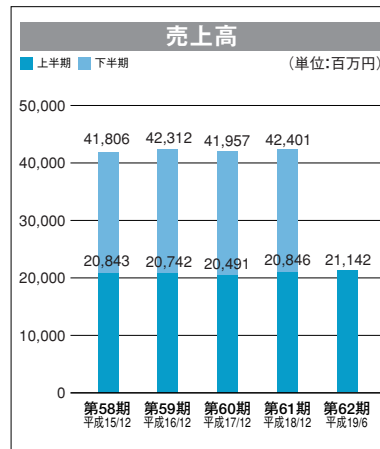
これら新製品を中心として窓辺の演出を提案するため新商品発表会を全国で開催し、拡販に努めてまいりました。主力製品の「シルキー」が順調なほか、昨年全面リニューアルした「ロールスクリーン」や「ラインドレープ」が好調であり、売上高は18,353百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

営業利益は、カタログ等販促物の効果的配布に取組むなど、採算性を重視した営業活動を進めた結果、727百万円(前年同期比76.6%増)となりました。

### ■ 駐車場装置関連事業

機械式駐車場の需要拡大で引き合い件数が増加し受注環境が改善される中、主力製品であるパズルタワーの完工ならびに短納期改造・改修工事が増加したことにより、売上高は1,226百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

営業利益は、低価格化に対応した選別受注活動の継続とコスト低減等に努めた結果、採算性が向上し69百万円(前年同期比718.7%増)となりました。



## ■ その他事業

「お客様の理想を形にする」を開発コンセプトに、搬送台車駆動用ギヤード「VG」を発売したほか、オリジナルの製品開発と首都圏で開催された展示会出展などお客様のあらゆるニーズの把握により、産業機械向け販売を中心に積極的な営業活動を展開しましたが、売上高は1,562百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

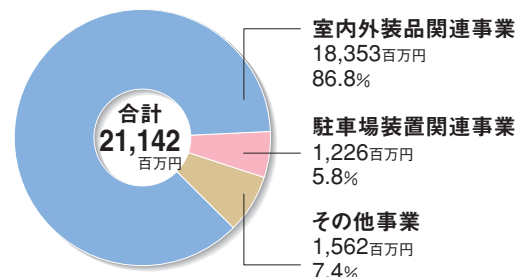
営業損益は、原材料価格の上昇や部品加工設備の投資に伴う減価償却費の負担もあり2百万円の損失(前年同期は50百万円の利益)となりました。

当期の見通しにつきましては、企業収益の改善は進み緩やかな景気回復基調が続くものと思われませんが、住宅需要の伸び悩みや原材料価格の動向等は依然不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、室内外装品関連事業においては、引き続き販売促進に力を注ぐと同時に、これまでの販促活動の成果の刈り取りを実施しシェア拡大と収益向上を図り、また経費の効果的投入とコスト削減に努めてまいります。

駐車場装置関連事業においては、環境や福祉をテーマに開発、発売したエレベータ方式立体駐車装置バリアフリー対応「ウェルポート・パズルタワーF」の市場浸透を図るとともに、高層化要求に

## 連結セグメント別売上高構成比



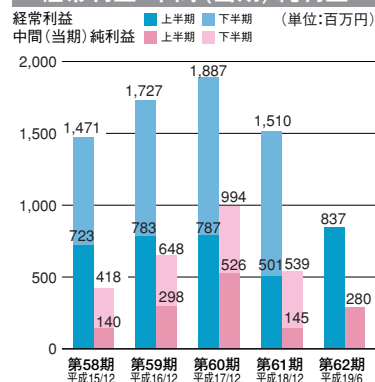
対応した駐車装置を市場投入してまいります。

その他事業においては、売上向上はもとより生産体制の効率化を図り、品質とコストの最適化による収益改善を最優先課題として取り組んでまいります。また、製品の軽量化や小型化、特定有害物質の排除に関する「RoHS指令」対応など市場環境に適合した製品開発を進めてまいります。

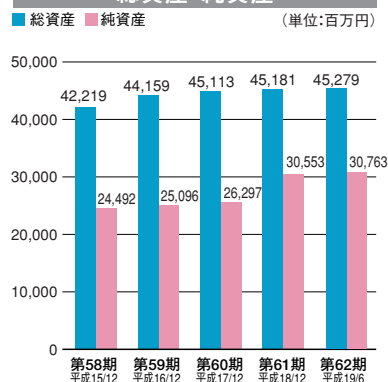
このほか、グループ全体の業務の効率化を推進し、収益基盤の強化に努めてまいります。

なお、通期の連結業績につきましては、売上高44,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,100百万円、当期純利益850百万円を見込んでおります。

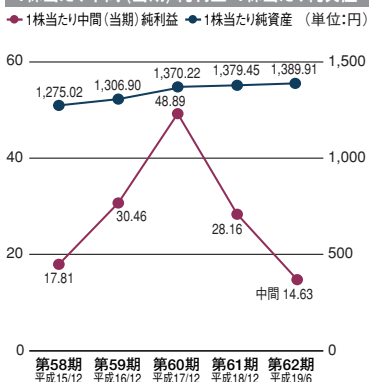
### 経常利益・中間(当期)純利益



### 総資産・純資産



### 1株当たり中間(当期)純利益・1株当たり純資産



# グループ(連結会社)の事業展開

## 経営の基本方針

当社グループは、建築物の開口部、とりわけ窓まわり製品を事業の核とする建築内装品の総合メーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術、動力伝導技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、顧客の皆様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、一般消費者、取引先ならびに株主の皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

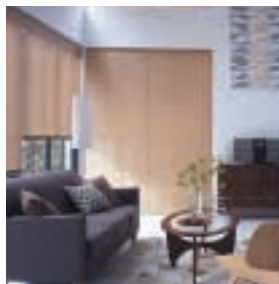
## 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティーの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

## 主な取扱製品

### 室内外装品関連事業

ブラインド、間仕切、カーテンレール、内装工事



### 駐車場装置関連事業

機械式立体駐車装置



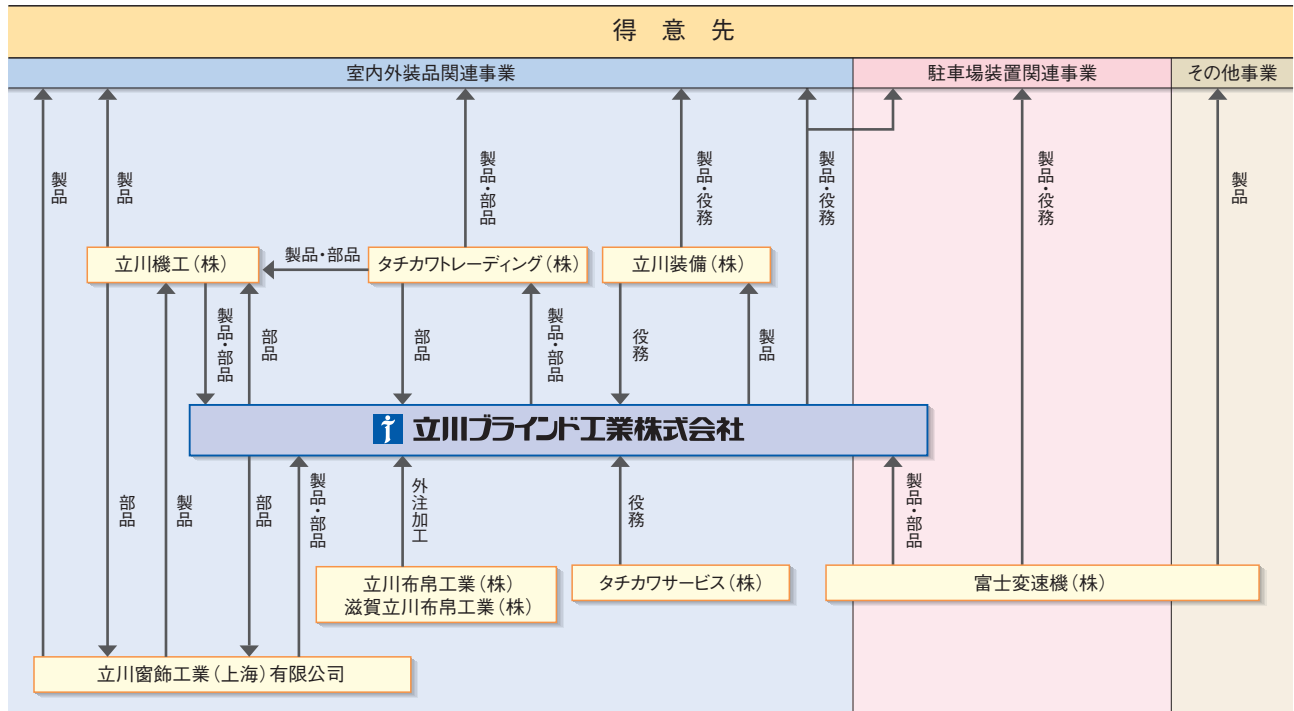
### その他事業

減速機



当社グループ(連結会社)は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

## 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

## 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
<b>本社所在地</b> 千葉県山武市 <b>資本金</b> 3億円 <b>事業内容</b> ブラインド、間仕切等の部品およびカーテンレールの製造販売	<b>本社所在地</b> 東京都渋谷区 <b>資本金</b> 3億円 <b>事業内容</b> ブラインド、間仕切等の取付工事および関連製品の販売	<b>本社所在地</b> 岐阜県岐阜市 <b>資本金</b> 25億750万円 <b>事業内容</b> 変速機、減速機、立体駐車装置および間仕切の製造販売

# 連結財務諸表(要旨)

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成19年6月30日現在	平成18年6月30日現在	平成18年12月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	27,739,604	26,366,430	27,392,275
固定資産	17,539,815	17,971,224	17,789,009
資産合計	45,279,420	44,337,655	45,181,285
<b>負債の部</b>			
流動負債	10,860,314	10,306,107	10,925,099
固定負債	3,655,646	3,712,374	3,702,968
負債合計	14,515,960	14,018,481	14,628,067
<b>純資産の部</b>			
資本金	4,475,000	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,279	4,395,252	4,395,253
利益剰余金	17,951,120	17,468,592	17,766,841
自己株式	△ 830,018	△ 827,063	△ 828,807
株主資本合計	25,991,381	25,511,781	25,808,286
評価・換算差額等	618,258	664,459	603,161
少数株主持分	4,153,819	4,142,932	4,141,769
純資産合計	30,763,459	30,319,173	30,553,217
負債・純資産合計	45,279,420	44,337,655	45,181,285

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成19年1月1日から平成19年6月30日まで	平成18年1月1日から平成18年6月30日まで	平成18年1月1日から平成18年12月31日まで
売上高	21,142,489	20,846,553	42,401,407
売上原価	12,481,309	12,262,855	24,998,502
売上総利益	8,661,179	8,583,697	17,402,905
販売費及び一般管理費	7,865,885	8,111,948	15,965,493
営業利益	795,294	471,748	1,437,412
営業外収益	117,584	99,428	213,538
営業外費用	74,978	69,549	139,994
経常利益	837,900	501,628	1,510,956
特別利益	18,256	17,801	18,732
特別損失	64,200	55,041	121,242
税金等調整前中間(当期)純利益	791,955	464,389	1,408,445
法人税、住民税及び事業税	370,454	264,600	858,385
法人税等調整額	121,213	38,849	△ 25,584
少数株主利益	20,277	15,706	36,421
中間(当期)純利益	280,011	145,232	539,223

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間期	前中間期	前期
	平成19年1月1日から平成19年6月30日まで	平成18年1月1日から平成18年6月30日まで	平成18年1月1日から平成18年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	255,199	595,674	888,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 135,129	△ 216,007	△ 577,997
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 116,231	△ 245,898	△ 342,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,865	△ 1,164	1,957
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	8,703	132,603	△ 29,204
現金及び現金同等物の期首残高	6,008,755	6,102,706	6,102,706
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 64,746	△ 64,746
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	6,017,459	6,170,563	6,008,755

## 中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年1月1日から平成19年6月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年12月31日残高	4,475,000	4,395,253	17,766,841	△ 828,807	25,808,286	608,489	4,009	△ 9,337	603,161	4,141,769	30,553,217
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 95,731		△ 95,731						△ 95,731
中間純利益			280,011		280,011						280,011
自己株式の取得				△ 1,261	△ 1,261						△ 1,261
自己株式の処分		26		51	77						77
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						9,251	1,785	4,059	15,096	12,050	27,147
中間連結会計期間中の変動額合計	—	26	184,279	△ 1,210	183,095	9,251	1,785	4,059	15,096	12,050	210,242
平成19年6月30日残高	4,475,000	4,395,279	17,951,120	△ 830,018	25,991,381	617,741	5,795	△ 5,278	618,258	4,153,819	30,763,459

# 単体財務諸表(要旨)

## 中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年6月30日現在	平成18年6月30日現在	平成18年12月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	19,021,603	18,274,183	18,947,911
固定資産	14,083,954	14,328,577	14,248,572
資産合計	33,105,557	32,602,761	33,196,483
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,965,683	8,778,849	9,250,906
固定負債	3,238,202	3,235,395	3,270,829
負債合計	12,203,885	12,014,245	12,521,735
<b>純資産の部</b>			
資本金	4,475,000	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,279	4,395,252	4,395,253
利益剰余金	12,349,219	11,962,573	12,117,078
自己株式	△ 830,018	△ 827,063	△ 828,807
株主資本合計	20,389,480	20,005,762	20,158,524
評価・換算差額等	512,192	582,753	516,224
純資産合計	20,901,672	20,588,516	20,674,748
負債・純資産合計	33,105,557	32,602,761	33,196,483

## 中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年1月1日から平成19年6月30日まで	平成18年1月1日から平成18年6月30日まで	平成18年1月1日から平成18年12月31日まで
売上高	17,470,586	17,165,858	35,166,022
売上原価	10,200,838	9,916,743	20,388,521
売上総利益	7,269,748	7,249,115	14,777,500
販売費及び一般管理費	6,830,568	7,127,448	14,034,876
営業利益	439,180	121,667	742,624
営業外収益	330,136	304,234	430,976
営業外費用	89,354	87,587	172,937
経常利益	679,962	338,314	1,000,662
特別利益	13,980	7,100	6,590
特別損失	53,696	40,660	87,187
税引前中間(当期)純利益	640,246	304,753	920,065
法人税、住民税及び事業税	202,846	130,563	542,111
法人税等調整額	109,528	10,213	△ 36,270
中間(当期)純利益	327,871	163,975	414,223

## 中間株主資本等変動計算書 (平成19年1月1日から平成19年6月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本							評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	その他利益剰余金				
平成18年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	253	464,073	11,653,005	△ 828,807	20,158,524	516,224	20,674,748
中間会計期間中の変動額									
剰余金の配当					△ 95,731		△ 95,731		△ 95,731
中間純利益					327,871		327,871		327,871
自己株式の取得						△ 1,261	△ 1,261		△ 1,261
自己株式の処分			26			51	77		77
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)								△ 4,032	△ 4,032
中間会計期間中の変動額合計	—	—	26	—	232,140	△ 1,210	230,956	△ 4,032	226,924
平成19年6月30日残高	4,475,000	4,395,000	279	464,073	11,885,145	△ 830,018	20,389,480	512,192	20,901,672

## Topics

### 「2007年 新商品発表会」を開催しました。

今年5月から9月にかけて、全国13会場にて「2007年 新商品発表会」を開催しました。

会場では、業界初の昇降コードの穴が正面から見えないプリーツスクリーン『ペルレ サート』をはじめ、スラット(羽根)に天然木を使用したタテ型ブラインド『ラインドレープ 木製タイプ』、新たに新色を追加した『シルキー』などを中心に、各製品の最新ラインナップを一堂に取り揃えました。住宅用から店舗向け、コンラクトに至るまで、各製品を実際にご覧いただけるほか、実際に取付けたときのイメージを感じていただけるようなコーディネート提案の展示も行いました。

新柄・新色・新機能でますます充実した新商品発表会は、活気溢れる雰囲気の中、多数の来場者に恵まれ、大盛況のうちに終えることができました。



### 創業70周年記念配当に関するお知らせ

当社は、来年5月に創業70周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様にご感謝の意を表すため、予定しておりました期末配当5円に加え、記念配当5円を実施させていただきます。年間配当予想を1株につき15円に修正することといたしました。

なお、本件につきましては、平成20年3月開催予定の第62期定時株主総会に付議する予定でございます。

基準日	中間期末	期 末	年 間
今回修正予想	5円	10円 うち普通配当 5円 うち記念配当 5円	15円
ご参考：前期実績 (平成18年12月期)	5円	5円	10円

## New Products

### 新しくなったプリーツスクリーン「ペルレ」を発売

今年5月にプリーツスクリーン『ペルレ』が新しくなりました。

新しくなった『ペルレ』には、業界初となる生地を通る昇降コードの穴が正面から見えない機能性と、デザイン性を徹底的に高めた『ペルレ サート』や、業界最小となる幅15cmから製作できるコンパクトな『ペルレ15 小窓タイプ』が加わりました。

また『ペルレ25 ペアタイプ』では、業界最大となる1枚の生地でも最大幅2.9mまでの対応が可能となり、大きな窓でも生地の継ぎ目がなく、プリーツ本来の美しさを楽しむことができます。

さらに生地アイテムの拡充を図り、モダンな新柄・新色による新しい使い方を提案する「スタイル」、和紙調や織物の「和&ナチュラル」、遮光やシースルー生地が充実した無地系の「ベーシック」の3シリーズ42柄184アイテムと、多様な窓に合わせやすいバリエーションとなりました。



### タテ型ブラインド 「ラインドレープ 木製タイプ」を新発売

今年6月にタテ型ブラインド『ラインドレープ 木製タイプ』を新発売しました。

この木製タイプは天然木の一枚板を使用したスラット(羽根)幅89mmの木製タテ型ブラインドです。スラットは、使いやすいブラウン系を中心に「ホワイト」、「ナチュラル」、「ライトブラウン」、「ウォールナット」、「チョコレートブラウン」の5アイテムで展開しているほか、バランス(製品上部のレール部分の飾り)は、3種類・全19色を取り揃え、木の質感あふれる贅沢な空間を演出することができます。

カラー  
バリエーション

LD-1251  
ホワイト

LD-1252  
ナチュラル

LD-1253  
ライト  
ブラウン

LD-1254  
ウォール  
ナット

LD-1255  
チョコレート  
ブラウン

# 製品紹介

ヨコ型 ブラインド							
	シルキーアクア	シルキーカーテンアクア	シルキー	シルキーカーテン	出窓タイプ	ナンシスタイプ	セハレートタイプ
変形タイプ	ファンシーブラインド	カラーコーディネートタイプ	木製ブラインドフォレティア	木製ブラインドフォレティアEco	アフタービート	モノコム25・35・50	VSブラック
				タテ型 ブラインド			
モノタッチ25・35	ツインティスL25・35タコSII	ルミスター50・80	エクステリアブラインドコントロール		ラインドレープ木製タイプ	パチカルブラインドM50・80・100	ローリーESV80・100
ファブリック 製品							
	ロールスクリーン	ロールスクリーン電動α静音タイプ	パネルスクリーン	クレアスローマンシェード	クレアスパネルカーテン	クレアカーテン	経木スタイル
					天窓・ 傾斜窓用		
竹スダレ	プリーツスクリーン「ベルレ25」	プリーツスクリーン「ベルレ15」	ラインドレープ	シルキー傾斜タイプ		シルキー天窓タイプ	ロールスクリーン傾斜窓タイプ
間仕切							
	パネル間仕切プレス下荷重タイプ	パネル間仕切プレスガイドレールタイプ	パネル間仕切プレス引戸仕様	アズウッドペーパーパネルタイプ	アズウッド連結パネルタイプ	アズウッドシングルパネルタイプ	アコウォール
						カーテン レール	
アコーデオンカーテン	アコーデオンスクリーン	スライディングドア100	スライディングドア50	スライディングドア50L	装飾カーテンレール		一般カーテンレール

この他にも様々な製品・タイプを取り揃えております。

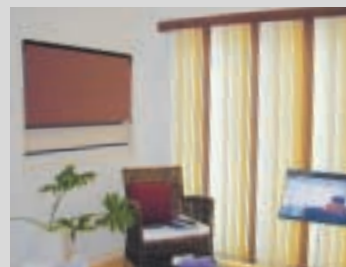
# ショールームのご案内

## G I N Z A 銀座

シ ョ ー ル ー ム

JR新橋駅の近く、銀座中央通り沿いにあるタチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足いただけるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。

東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル  
TEL (03) 3571-1373  
定休日 日曜・月曜・祝祭日  
営業時間 10:00~18:00



### ディスプレイ

タチカワブラインドがおすすめするアイテムやコーディネートのご紹介をしています。



### ショーイング

### コンサルティング

### テストイングウインドウ

製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストイングウインドウでは製品に太陽光を通したときの印象をご覧いただけます。お気軽にお声をおかけください。

### ショールーム一覧

タチカワブラインドでは、インテリアや窓辺を楽しくセンスアップするためのアイテムを取り揃えて、いつでも皆様をお待ちしています。

#### 仙台ショールーム

宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12  
TEL (022) 275-1311  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

#### 大阪ショールーム\*

大阪府大阪市中央区南船場4-6-17 2F  
TEL (06) 6881-1781  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 9:00~17:30

#### 名古屋ショールーム

愛知県名古屋市中区栄3-4-4 3F  
TEL (052) 532-5085  
定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

#### 高松ショールーム

香川県高松市木太町六区2662-1  
TEL (087) 837-2720  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00

#### 金沢ショールーム

石川県金沢市東力4-181  
TEL (076) 291-1146  
定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00

\*大阪ショールームには常駐スタッフはおりませんので、ご案内・ご説明が必要の際は事前にご予約ください。

# 会社の概要

## 会社概要 (平成19年6月30日現在)

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業(般-17)第5037号 建具工事業(般-17)第5037号 機械器具設置工事業(般-17)第5037号 建築工事業(特-17)第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話番号	(03)5484-6100(大代表)
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,228名 単体830名 (パート・契約社員等を除く)

## 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン(横型)ブラインド、 パーチカル(縦型)ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、取付工事、その他

## 連結会社

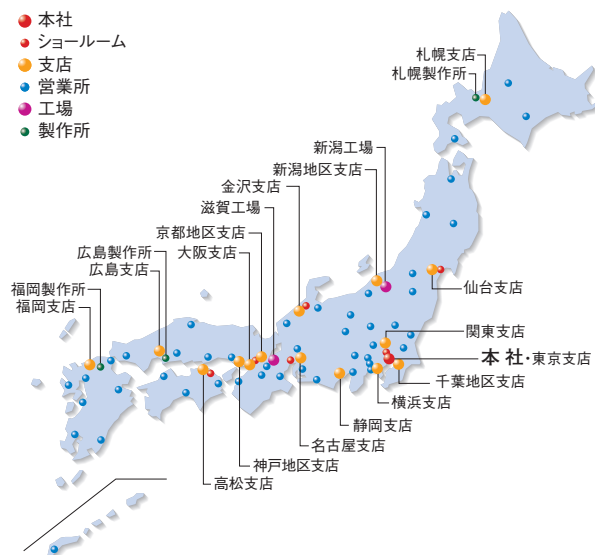
国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワトレーディング株式会社 東京都中央区銀座8-8-15
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県東近江市中里町470	立川窗飾工業(上海)有限公司 上海市嘉定区葉城路1211

## 取締役および監査役 (平成19年9月14日現在)

代表取締役社長	立川 光 威
取締役	國米 利 政
取締役	東澤 章 一
取締役	木田 敏 雄
取締役	竹中 伸 也
取締役	阿保 晴 也
取締役	中嶋 毅
常勤監査役	細川 博
※監査役	高後 元 彦
※監査役	坪井 節 子
※監査役	守内 禎 誼

(注) ※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 当社ネットワーク



# 株式情報

## 株式の状況 (平成19年6月30日現在)

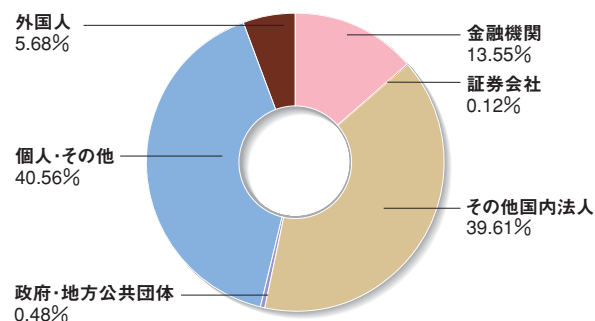
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	6,003名

## 大株主および持株数(上位10名)

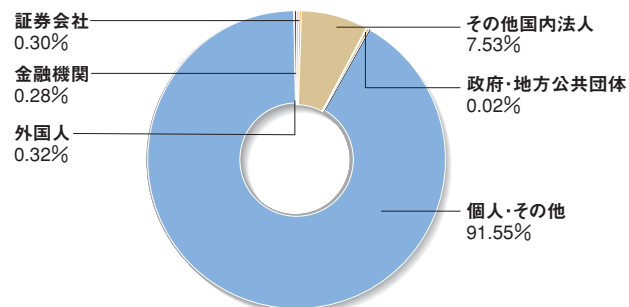
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.59
タチカワプラインド取引先持株会	1,787	9.38
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.98
立川 溥	566	2.97
株式会社みずほコーポレート銀行	532	2.79
ロンバード オーディエ ダリエ ヘンチ アンド シー	500	2.62
タチカワ社員持株会	473	2.48
三菱商事株式会社	470	2.47
株式会社りそな銀行	460	2.42
日本生命保険相互会社	415	2.18

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。  
2. 当社は自己株式1,618千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

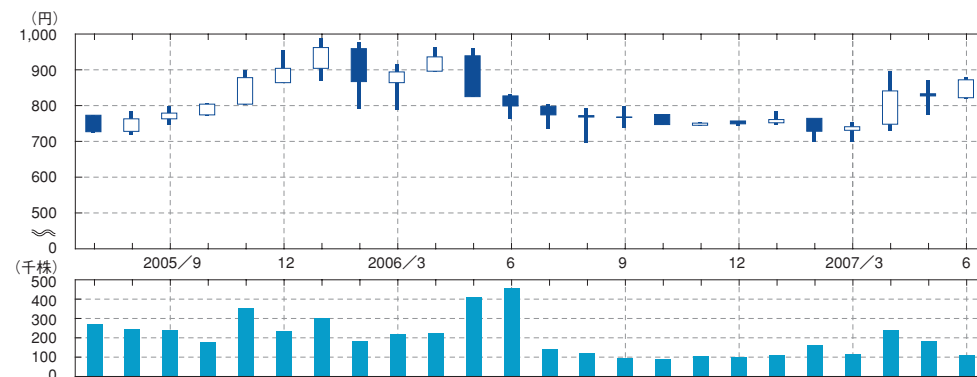
## 所有者別持株比率



## 所有者別株主比率



## 株価および出来高の推移



## 株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会 基準日	12月31日
剰余金配当 基準日	12月31日(期末配当) 6月30日(中間配当)
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL <a href="http://www.blind.co.jp/koukoku/">http://www.blind.co.jp/koukoku/</a> ※事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
同取次所	日本証券代行株式会社各支店
単元株式数	100株
単元未満株式の買取 増請求受付場所	株主名簿管理人事務取扱場所および同取次所がお取扱いいたします。

### 住所等の変更手続について

住所、氏名、届出印、配当金の振込口座などの変更は、日本証券代行(株)代理人部へご連絡ください。証券保管振替制度を利用され、お手元に株券がない方はお取引証券会社にお申し出ください。

### 配当金の受取について

配当金郵便振替支払通知書をお近くの郵便局へお持ちください。なお、郵便局での取扱期間を超過したものについては、日本証券代行(株)代理人部でお取扱いいたします。また、今後銀行振込をご希望の方は、日本証券代行(株)代理人部へ「配当金振込指定書」をご請求ください。

### (郵便物送付先) お問い合わせ先)

〒137-8650  
東京都江東区塩浜二丁目8番18号

(住所変更等用紙のご請求)

☎ 0120-707-842 (自動音声応答サービス受付/24時間)

(その他のご照会)

☎ 0120-707-843 (オペレーター受付/平日9時～17時)

株式お手続き用紙のご請求をインターネットでも受付しております。

ホームページアドレス <http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

※「お手続き用紙のご請求」をご参照願います。

※証券保管振替制度をご利用の方は、お取引口座のある証券会社へご照会ください。



**立川ブラインド工業株式会社**

〒108-8334 東京都港区三田三丁目1番12号 電話 (03)5484-6100(大代表)



**R100**

この報告書は、古紙配合率100%再生紙と、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷するとともに、計金を使わず「ECO綴じ」にて製本しています。